

公益財団法人 えどがわ環境財団 概 要



目 次

目次	1
江戸川区の位置・面積・人口	1
江戸川区の緑化への取り組み	2
江戸川区の公園・児童遊園	2
親水公園・親水緑道路線図	3
水と緑のネットワーク	4
親水公園	4
古川親水公園	5
小松川境川親水公園	6
新長島川親水公園	7
新左近川親水公園	7
一之江境川親水公園	8
親水緑道	9
主な公園配置図	10
総合レクリエーション公園	11
行船公園	13
今井児童交通公園	14
河川敷公園	14
河川敷グラウンド	14
平井・小松川運動公園・小松川千本桜	15
小岩菖蒲園	16
パートナーシップ推進事業	17
水と緑のセンター機能の充実	17
水と緑のリーダー会議の開催	17
アダプト活動交流会への参加	17
公園ボランティアの育成事業	17
ウェルカム・ガーデナーの育成事業	17
ネイチャーリーダーの育成事業	18
えどがわ桜守の育成事業	18
水と緑の区民カレッジ講座	18
施設の魅力アップ事業	19
イベントの開催	20
緑化推進事業	21
緑のもったいない運動	21
動物と親しむ事業	22
自然動物園	22
ポニーランド	24
花カレンダー	26
えどがわ環境財団組織・あゆみ	27

江戸川区の位置・面積・人口



江戸川区の位置(区役所)

東経 139° 52' 19"
 北緯 35° 42' 13"
 面積 49.09km²
 南北: 約13km
 東西: 約8km
 人口 680,380人
 (平成23年4月1日現在)

江戸川区の緑化への取り組み

三方を水辺に囲まれた江戸川区は、かつては、自然豊かな田園風景が広がっていました。

しかし、昭和30年代後半以降、著しい都市化の進展に伴い大きな緑が年々減少し、農業用水路は雑排水が流れ、ゴミ捨て場になるなど、生活環境の悪化がもたらされました。

そこで、失われた緑を回復し、自然性豊かな生活環境を創り出して行くことが本区の新たな目標として掲げられました。昭和45年「ゆたかな心地にみどり」を合言葉に、区民と行政とが一体となった緑化運動が展開されて行ったのです。

このために、昭和47年7月から9月には東京農業大学に委託し樹木の実態調査を行い、区民一人当たりの樹木数10本、公園面積10㎡を目標として掲げました。

江戸川区の公園・児童遊園等

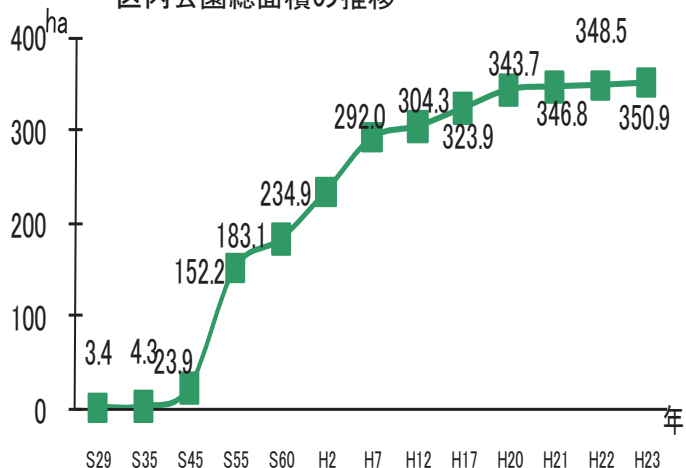
昭和18年に行船公園など3箇所の公園の管理が東京都から委任され、昭和25年には区立公園条例が制定されました。また、昭和45年以降、公園は公的緑化の核となり、面緑化の重要な担い手として積極的に整備されてきました。

平成23年4月1日現在

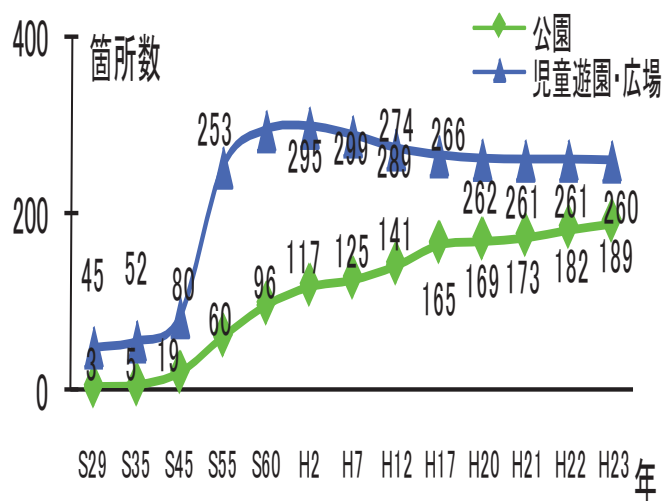
	箇所数	面積(㎡)
公園	189	1,905,932.68
児童遊園・広場	260	259,725.67
区立計	449	2,165,658.35
都立公園 ※1	4	1,343,931.39
合計	453	3,509,589.74

※1 海浜公園:1園、4,117,473.01㎡を除く

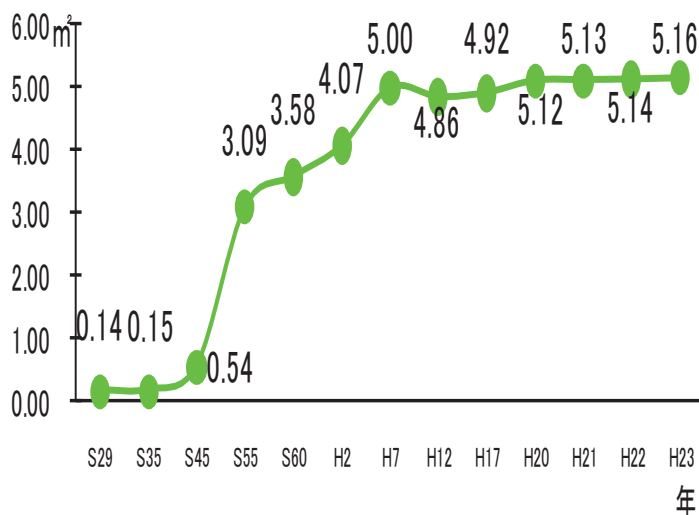
区内公園総面積の推移



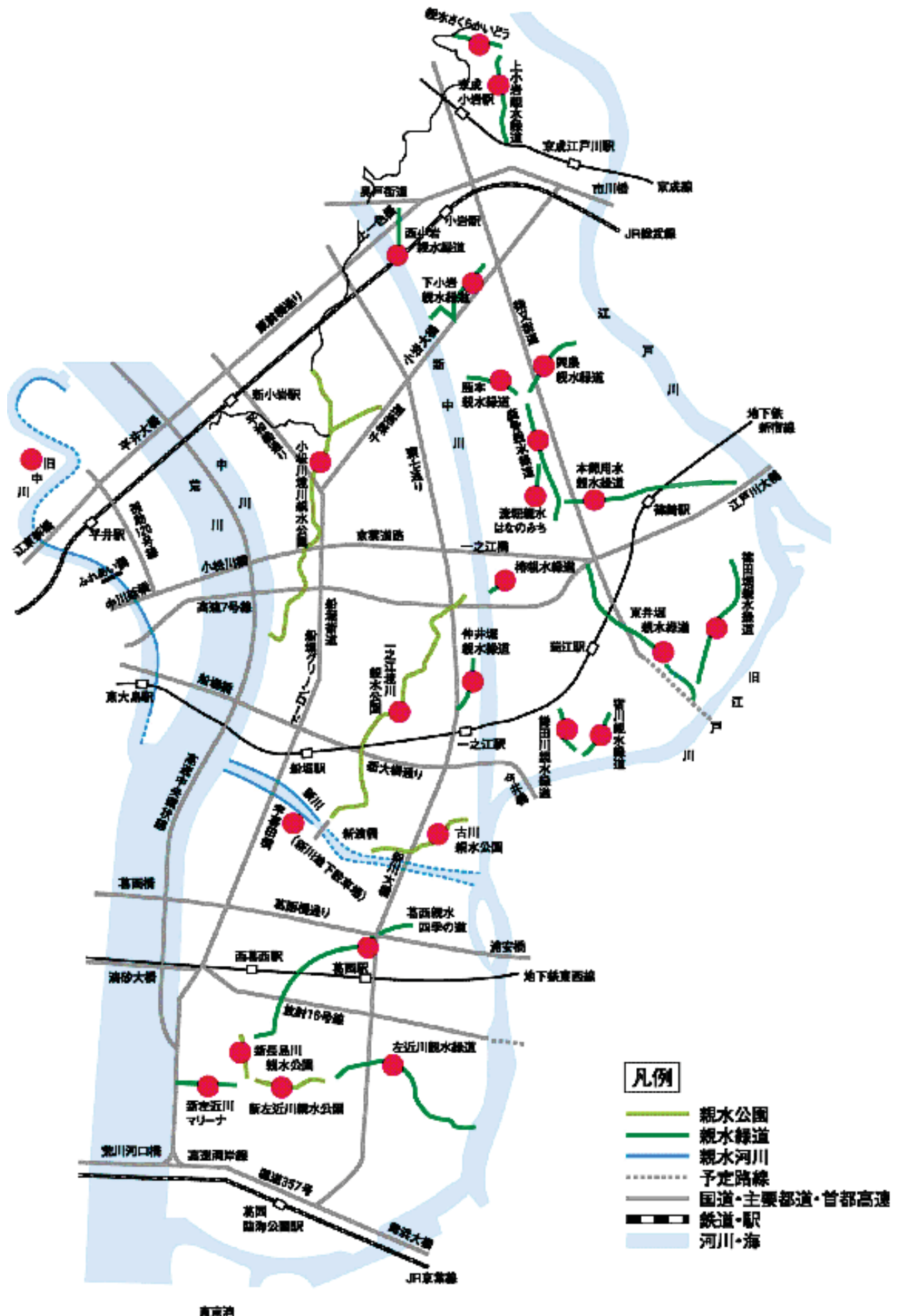
区内公園、児童遊園数の推移



区民一人あたりの公園面積の推移



親水公園・新水緑道路線図



平成23年4月1日現在

水と緑のネットワーク

親水公園を中心とする水とみどりのネットワークが、区内全体に広がっています。各地域にそれぞれ特色のある、変化に富んだ親水公園が5箇所もあります。親水緑道とあわせて大人も子供も水と親しめる幸せをかみしめながら、地域のシンボルとし、コミュニティの大きな輪を育み、次代に引き継がれようとしています。

親水公園

「浸水」から「親水」へ

江戸川区はかつて、雨が降れば水浸しと言われ、各地で川があふれ、浸水に悩まされてきました。さらに、昔かんがい用や船の運航にも利用された中小河川は、宅地化が進むにつれて、家庭や工場の雑排水が流れ込み、悪臭を放つドブ川と化しました。しかし、下水道の整備が進むにつれて、浸水の心配はなくなると同時に、不要となる河川の見直しが必要となりました。そこで生まれたのが、「親水」という考え方です。従来からの治水、利水という機能とは異



なる、新たな第三の機能というべき、水を友とする親水機能を打ちだしたのです。

よみがえる清流

こうして生まれたのが古川親水公園です。旧江戸川から水を導き1.2kmの古川を、水と親しめるいこいの場として再生したのです。都市化の中で、もはや回復不能と考えられていた「自然」が見事によみがえったのは、昭和49年のことでした。この画期的な試みに対して、全日本建設協会から「全建賞」を贈られたのを始めとして、昭和58年6月に発表された「環境白書」にも快適な環境づくりの典型例であると紹介され、各方面に大きな反響を呼びました。

水辺のコミュニティ

都市の生活の中にせせらぎの音が聞こえます。昭和56年から始まった、小松川境川親水公園の建設では、4年の歳月をかけて3.2kmの変化に富んだせせらぎが生まれ、その後平成5年には、湧水のゾーン、0.7kmも完成いたしました。新中川の水を浄化し、自然の川の流れのように続く清流は、人々のコミュニティの輪を広げました。古川親水公園に続き、小松川境川親水公園にも「愛する会」が結成され、日々の清掃活動やイベントの実施など地域の新しい活動の舞台となっています。また、全国から訪れる多くの視察者にも感動を与え、昭和61年には建設省（現国土交通省）の「手づくり郷土賞」や「国際交通安全学会賞」などの賞を受けました。

古川親水公園

親水公園の第1号となった古川は、その昔、行徳の塩を江戸に運んでいた由緒ある水路です。都市化の進展により雑排水路となっていました。全国で初めて「親水」という新しい概念で、緑と清流の河川を復活させ、都市の中に潤いのある自然環境を創出しました。



【施設規模】

公園延長 1,200m

公園面積 9,435㎡

【施設整備】

当初整備 4億5千万円

〔公園造成 2億円〕
〔浄水場 2.5億円〕

【古川を愛する会】

(設立) 昭和49年6月

(組織) 10町会、6子供会

(活動) *夏休み早起き清掃

*夏休みパトロール

【経緯】

昭48.3 上流部完成(突留橋～環七520m)

昭49.3 下流部完成(環七～古川橋680m)

昭49.5 「全建賞」受賞(5/31)

昭49.6 「古川を愛する会」発足

昭50.6 第1回古川まつり開催

昭57.5 「国連人間環境会議」(ナイロビ)で世界に紹介される

平 6.6 愛する会が「東京都環境賞」受賞

平 9.4 愛する会が「みどりの愛護功労者建設大臣賞」を受賞

平22.5 愛する会が「緑綬褒章」を受章

小松川境川親水公園

小松川境川は、本区の中心部を流れ、かつては農業用水や舟運の航路として、重要な役割を果たしてきました。そこで、①自然の回復(創造)、②コミュニティづくり、③文化都市空間の形成、④子どもと水のふれあいづくりをテーマに“よみがえる清流”として、都市における理想的な自然環境を創出しました。



【施設規模】

公園延長 3,930m 公園面積 34,815㎡
 <中央森林公園> 公園面積 6,697㎡
 <東小松川公園> 公園面積 3,144㎡

【施設整備】

本線 36億円
 * 事業団24億円(公園造成)
 * 土木部12億円
 (導水管・ヘドロ固化・配水管等)
 上流部 7億5,640万円
 * 葛飾区 建設経費の1/2を負担
 流末部 8,858万円

【小松川境川親水公園を愛する会】

(設立) 昭和58年1月
 (組織) 16町会
 (活動) * 夏休み子ども早朝清掃
 * 親水公園一斉清掃

【経 緯】

昭54. 12 中央森林公園オープン
 昭55. 12 親水公園建設審議会設立(条例設置)
 昭56. 4 区民施設協議会開催
 昭57. 3 審議会最終答申「小松川境川親水公園基本計画」策定
 昭57. 3 せせらぎのゾーン完成(4/25オープン)
 昭58. 1 「小松川境川親水公園を愛する会」発足
 昭58. 3 水の庭園ゾーン完成
 昭59. 3 水しぶきのゾーン完成
 昭60. 3 たゆたいのゾーン完成
 昭60. 5 全線開通式
 昭61. 4 「国際交通安全学会賞」受賞
 昭61. 7 「手づくり郷土賞」受賞
 平 5. 6 湧水のゾーン完成
 平 6. 3 流末部完成(4月供用開始)
 平 9. 4 愛する会「みどりの愛護功労者建設大臣賞」受賞
 平17. 11 「手づくり郷土大賞」受賞

新長島川親水公園

新長島川親水公園は、「葛西沖開発土地区画整理事業」によって、旧海岸堤防と清新町側土留めの間に造成された入り江型の水路(公共溝渠)で、長島川の排水路として機能していました。長島川が「葛西親水四季の道」として親水化されたことにより、昭和63年度、東京都から江戸川区に管理移管され、これを親水公園として整備しました。

【施設規模】

公園延長 530m
公園面積 13,800㎡

【施設整備】

当初整備 7億9,300万円
公園造成 7億1,300万円
循環ポンプ 8,000万円

【経緯】

平成 3.4 公園開園
平成22.6 水と緑に親しむ会が「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞



新左近川親水公園 新左近川マリーナ

新左近川は、「葛西沖開発土地区画整理事業」によって、区の臨海部に造成された延長1.4kmの水路(公共溝渠)で、左近川の排水路としても機能していました。

上流部の入江には、約170隻のプレジャーボート、50隻の漁船が不法係留されていましたが、これを河口側に移動し、下流部を「新左近川マリーナ」として整備し、上流部の広い水域を活かした「新左近川親水公園」として整備しました。

【施設規模】

(1)親水公園 延長750m 面積109,840㎡
(2)マリーナ 延長650m 面積 64,600㎡

【公園施設】

(1)駐車場面積 半地下5,000㎡ 収容台数200台
(2)ボート場
(3)バーベキュー広場

【マリーナ施設】

(1)係留数 プレジャーボート110隻
漁船38隻 (平成23年4月現在)



【施設整備】

当初整備	マリーナ	5億6,500万円	<下流部基盤整備>
親水公園	環境整備	3億3,600万円	19億円河川整備
公園造成	係留施設	2億2,900万円	(護岸地盤改良等)
駐車場			

【経緯】

昭59.6 新左近川公園として供用開始
平 5.3 西側部分完成
平 5.5 マリーナ完成・供用開始
平 5.7 西側ボート場オープン(7/21~)
平 6.4 東側ボート場オープン(4/1~)
平 9.4 土木部からマリーナの管理を受託
西側ボート場前に売店設置



一之江境川親水公園

東一之江村と西一之江村の境を流れることから、この名に由来し、古くは農業用水として使用されていました。

古川や小松川境川は、近年、「親水」という機能により遊水性をもたせた環境づくりが行なわれましたが、ビオトープなど自然との共生がより求められる時代となり、水遊びのみならず身近な生物とふれあえる場を創出するため、「野川の再生」をテーマに一之江境川親水公園は整備されました。

水路の特徴

循環方式 干潮時(A. P+0. 2以下)には、原水の自然流下が止まるので、送水管(Φ350mm)により水を循環させ、水量を維持しています。

水の広場 夏季には広場の水門を閉じ、バイパス管で本川の水を迂回させ、池には水道水を循環ろ過して、子供の水遊び場としています。



【施設規模】

公園延長3,200m 公園面積30,565㎡
<二之江さくら公園> 公園面積 3,397㎡

【施設整備】

当初整備29億7,600万円

【経緯】

- 平 4. 10 建設協議会設置(要綱)
- 平 5. 3 「一之江境川親水公園基本計画」策定
- 平 7. 3 上流部完成(せせらぎのゾーン)
- 平 7. 4 上流部完成記念式
- 平 8. 3 中流部完成(であいのゾーン)
下流部完成
(にぎわいのゾーン・さくら公園改修)
地元から記念碑「清流よ永遠なれ」寄贈
- 平 8. 4 全線完成記念式
- 平 8. 9 「一之江境川親水公園を愛する会」発足
- 平 9. 8 第1回自然観察会開催
- 平17. 9 第1回秋の虫の歌声鑑賞会開催
- 平18. 3 「生物調査報告書」作成
- 平18. 4 「生き物たんけんハンドブック」発行
- 平20. 4 愛する会が「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞



【一之江境川親水公園を愛する会】

(設立) 平成8年9月

(組織) 18町会、21子供会、16くすのきクラブ

- (活動) * 親水公園自然観察会ほか
* 夏休み早朝清掃
* 愛する会一斉美化運動

親水緑道

親水緑道は、親水公園に比べ規模の小さなもので、生活道路のかたわらに幅1mほどの小川が流れる歩行空間です。魚の泳ぐ姿を楽しみながら、緑陰を散策することができる“みち”です。

親水公園は公園、親水緑道は道路という区分で整備・管理しています。

【経緯】平成22.6 葛西「四季の道」水と緑に親しむ会が「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞

親水緑道名	流水方式	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	施工年度 数字は施工延長(m)																					
				62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1 下小岩親水緑道	循環	950	0.02	820			130																		
2 親水さくらかいどう	循環	500	0.02	500																					
3 葛西親水四季の道	自然流下	2,100	0.04	2,100																					
4 西小岩親水緑道	循環	420	0.03			420																			
5 鹿本親水緑道	循環	750	0.04			750																			
6 上小岩親水緑道	循環	950	0.05			950																			
7 興農親水緑道	自然流下	820	0.07				820																		
8 新左近川マリーナ	—	650	—				650																		
9 流堀親水はなのみち	循環	420	0.05					420																	
10 仲井堀親水緑道	循環	580	0.02						580																
11 篠田堀親水緑道	自然流下	1,600	0.15							1,600															
12 鎌田川親水緑道	循環	500	0.04								500														
13 鹿骨親水緑道	自然流下 一部循環	1,290	0.04									1,130		160											
14 左近川親水緑道	自然流下	2,000	0.25												2,000										
15 本郷用水親水緑道	自然流下	1,580	0.04																					400	
16 椿親水緑道	循環	170	0.05													170									
17 東井堀親水緑道	自然流下	1,800	0.04																						
18 宿川親水緑道	循環	600	0.10																						
18路線		17,680		完成延長 17,680m(整備率100%)																					



篠田堀親水緑道



興農親水緑道

主な公園

平成23年4月1日現在



都立公園

- ① 大島小松川公園
- ② 宇喜田公園
- ③ 葛西臨海公園
- ④ 篠崎公園

区立公園

- ① 小岩公園
- ② 宇喜田中央公園
- ③ 宇喜田東公園
- ④ 南葛西五丁目公園
- ⑤ 総合レクリエーション公園
- ⑥ 行船公園
- ⑦ 今井児童交通公園
- ⑧ 新堀庭園
- ⑨ 東小松川公園
- ⑩ 小松川運動公園
- ⑪ 小岩緑地
- ⑫ 篠崎緑地
- ⑬ 中央森林公園
- ⑭ 平井運動公園
- ⑮ ポニーランド
- ⑯ 小岩菖蒲園
- ⑰ 清新町緑地
- ⑱ 臨海町四丁目緑地
- ⑲ 小松川千本桜
- ⑳ 平井七丁目北部緑地
- ㉑ 瑞江緑地
- ㉒ 一之江緑地
- ㉓ 清新町北部緑地
- ㉔ 小松川なかよし緑地
- ㉕ 新中川右岸緑地
- ㉖ 新中川左岸緑地
- ㉗ 水辺のスポーツガーデン
- ㉘ 一之江抹香亭

総合レクリエーション公園

葛西地区の土地区画整理事業を遂行する中で、住宅を建てることの出来ない東京電力の高圧線下の土地利用が検討され、その特性を逆にとり電力会社と協議のうえ、線下の土地の無償提供を受けました。この全域24haを公園用地として集積し、一連の都市公園として計画決定をし、区民が集い、楽しめる広域総合公園として位置付けました。昭和55年4月「総合レクリエーション公園建設審議会」を設置して、公園作りの検討を始め、昭和56年3月「総合レクリエーション公園基本計画」を策定しました。

これに基づき昭和57年1月に「こどもの広場・ファミリースポーツ広場」の2公園から建設に着手し、以来11年の歳月をかけ平成5年3月「なぎさ公園」の完成により、すべての公園が開園となりました。



①子供の広場

開園 昭58. 4. 1
面積 4, 571㎡
芝生広場・アスレチック

②江戸川区球場

開園 昭59. 9
面積 17, 516㎡
両翼90m・センター118m、
収容人員4, 000人
(指定管理者管理)

③虹の広場

開園 昭59. 9. 29
面積 8, 645㎡
大壁泉高さ7m、長さ50m夜間照明
レリーフ「平和への希求」
円形広場径60m、湧水泉径7m



④西葛西少年野球広場

開園 昭59. 9. 29
面積 12, 872㎡
少年野球グラウンド2面

⑤新田の森

開園 昭49. 11
面積 9, 071㎡
ニセアカシヤの森・散策路

⑥プールガーデン

開園 昭59. 7. 1
面積 22, 372㎡
「流れるプール」、
「スライダープール」等5つの
プールがある。
3, 100人収容
シーズンオフはテニスコート
(7面)として活用されている。
(指定管理者管理)



⑦よい子の広場

開園 昭63. 6. 6
面積 3, 028㎡
小広場

⑧南葛西少年野球広場

開園 昭63. 6. 6
面積 11, 500㎡
少年野球グラウンド2面

⑨ファミリースポーツ広場

開園 昭58. 4. 1
面積 14, 984㎡
芝生広場・相撲場
・壁打ちテニス場



⑩フラワーガーデン

開園 昭59. 3. 22

面積 21, 307㎡

環七に面した洋風庭園。

バラを基調に、四季の花が咲き競う。

バラエティーに富んだ4つの噴水(夜間ライトアップ)や、大回廊、野外音楽堂などがある。

⑪富士公園

開園 昭61. 4. 1

面積 40, 341㎡

標高11mの「江戸川富士」がそびえる公園。

頂上には「乙女の像」が立つ。

麓にはキャンプ場・大型アスレチック等があり、自然とふれあえる。



⑫なぎさ公園

開園 平5. 4. 1

面積 63, 028㎡

総合レクリエーション公園の最東端に位置し、旧江戸川に面する。

標高15mの「展望の丘」に立つと、旧江戸川の水面と葛西地域一帯が見渡せる。

少年野球広場、スポーツ広場、ゲートボール場、ポニーランドがある。

⑬パノラマシャトル

(1)車輌

「元気くん」(SL型) 大人で30人、子供で45人乗車可能

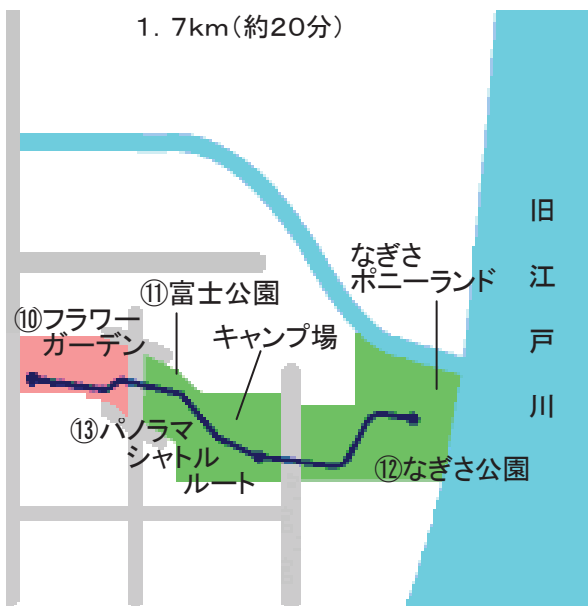
「未来くん」(新幹線型)大人で27人、子供で40人乗車可能

(2)運行

(開始) 平3. 5. 20

(区間) フラワーガーデン～芝生広場～富士公園キャンプ場～富士公園～なぎさ公園展望の丘～なぎさ公園

1. 7km(約20分)



【施設規模】

公園面積 228, 529㎡

【施設整備】

当初整備 94億130万円

【経緯】

昭55. 4 建設審議会設置(条例)

昭56. 3 総合レクリエーション公園基本計画策定

昭58. 4 子どもの広場・ファミリースポーツ広場開園

昭59 フラワーガーデン、プールガーデン、江戸川球場、虹の広場、西葛西少年野球場等開園

昭63 よい子の広場、富士公園開園、南葛西少年野球場開園

平 3. 5 シャトル運行開始

平 5. 4 なぎさ公園開園

行船公園

行船公園は、昭和8年地元の田中源氏が、区民福祉の増進と生活文化の向上のための公園用地として、東京市へ寄付したもので、昭和25年東京都から江戸川区へ地上権、管理権が委譲されたのを機に、公園本来の姿として計画整備されたものです。

昭和58年に自然動物園を開園。平成元年3月、公園北側部分を全面改修し、平成庭園を開園しました。



【施設規模】

公園面積 29,752㎡
 公園北部(平成庭園側) (15,770㎡)
 自然動物園(4,900㎡)



【公園施設】

平成庭園(日本庭園、源心庵、つり池、水草の池)
 広場(噴水、遊具広場)
 自然動物園

【経緯】

- 昭 8. 7 田中源氏より東京市へ寄付
- 昭25. 10 東京都から江戸川区へ譲渡、開園
- 昭47. 11 源心庵オープン(建坪60㎡・茶庭540㎡)
- 昭50. 6 ホテル養殖場を椿排水場から行船公園内に移設
- 昭50. 6 第1回ホテル祭り開催(江戸川区産ホテル鑑賞の夕べ)
- 昭58. 5 行船公園内の区民プール跡地に、自然動物園開園
- 平 元. 3 平成庭園開園
- 平 元. 4 行船公園改修・源心庵改築オープン(4/16落成式)
- 平 5. 4 自然動物園改修開園
- 平 8. 4 行船公園全体の管理を委託

今井児童交通公園

この公園は、緑ゆたかな環境の中でゴーカートや自転車に乗り、楽しみながら交通道徳を身につけることができるようにとの願いをこめて造られたものです。

園内は、年齢に応じて楽しく過ごしていただくよう工夫されております。

【施設規模】

公園面積 9,290m²

【公園施設】

レインボーサイクル(1周214m) 10台
 ゴーカート(1周500m) 30台
 自転車(1周500m) 30台

【経 緯】

昭43. 2 開園
 昭59. 11 レインボーサイクル設置
 平 2. 園東側拡張オープン



河川敷公園

江戸川、荒川、新中川等の河川敷に設置され、区立公園面積の37%を占めています。

また、グラウンド、ポニーランド、菖蒲園、ビオトープ等として利用され、本区の公園を特長づけるものとなっています。

園数	面積(m ²)
9	780,672

河川敷グラウンド

【施設概要】

	野球場		ソフトボール場		サッカー場	
	面数	面積	面数	面積	面数	面積
江戸川河川敷	32(12)	210,145	4	15,016	9(4)	43,760
荒川河川敷	9(4)	45,014	2	9,238	1(1)	3,412

	ラグビー場		運動場		ゲートボール場		計(除広場)	
	面数	面積	面数	面積	面数	面積	面数	面積
江戸川河川敷	1	9,936	1	18,777	24	(広場)	47(16)	297,634
荒川河川敷	0	0	0	0	0	0	12(5)	57,664
							合計	59(21) 355,298

(): 少年用、内数 面積:m²

【経 緯】

平18.4 江戸川区より管理委託



グラウンド(江戸川)



グラウンド(荒川)



ビオトープ(荒川)



ビオトープ(荒川中土手)

平井・小松川運動公園、小松川千本桜

荒川スーパー堤防整備事業から生み出されるオープンスペースを活用して、千本の桜が咲き誇る名所として整備されました。

【施設規模】

全体計画 延長1,980m 面積62,300㎡

開園部分 延長1,880m 面積60,800㎡

【施設概要】

植栽	桜1,000本
ソメイヨシノ	583本
オオシマザクラ	228本
エドヒガンザクラ	78本
サトザクラ	69本
他6種	42本
常緑樹	90本
低木	29,000株

【施設整備】

既工事費 4億9,700万円



【経緯】

平 4	第1期工事開始
平10. 3	「桜守」による記念植樹(110本)
平15. 3	第6期工事完成 記念式典開催
平20. 4	愛する会が「さくら功労者」表彰受賞

【小松川千本桜を愛する会】

(設立)	平成16年2月
(組織)	51町会、28団体
(活動)	さくらまつり、育樹大会、清掃活動

小岩菖蒲園

江戸川河川敷に広がる小岩菖蒲園は、地元の方から寄贈された菖蒲をもとに、区が回遊式の庭園にしたもので、5～6月に100種、50,000本の花菖蒲が咲き誇り、都会のオアシスとして都内名所の一つになっています。

毎年6月に地元の町会・自治会の協力を得て「小岩菖蒲園まつり」が開かれます。

京成線江戸川駅の近くということもあって、区外近県から訪れる人も多く、数万人の人々が満開の花菖蒲を愛でるとともに、初夏の楽しい一日を過ごしています。



江戸系



肥後系



伊勢系



外国系

【施設規模】

公園面積	19,251㎡
菖蒲田	4,900㎡
花菖蒲	100種
	50,000本
芝生広場・花壇	7,500㎡
花畑・園路	6,850㎡

【施設整備】

当初整備 3,750万円

【花菖蒲の種類】

江戸系：潮来の夢、夏姿

肥後系：舞扇、殿上人

伊勢系：桜獅子、松坂司

外国系：ピンクライアン、ブルーボンボン等

【経緯】

- 昭42. 6 小山源之助氏 自宅近くの空地に花菖蒲250株を植える
- 昭45. 春 現在地に菖蒲田 (1,000㎡ 2,000株)
- 昭55 小山氏から花菖蒲寄贈 (100種 6千株、3万本)
- 昭57. 6 小岩菖蒲園開園(6/20) 開園式開催(第1回菖蒲園まつり)
- 昭62. 10 周辺緑地に花畑造成(1,800㎡)
- 昭63. 11 「利根川百景」(利根川百年記念)に選定される
- 平 2. 6 「ムジナモの碑」有志により建立
- 平22. 6 シャトルバス運行 (まつり期間中の土日のみ)

パートナーシップ推進事業

特色ある公園等が充実した今日、憩いの場である公園をフィールドとし、区民主体の「共育」「協働」の学びの場・実践の場として各種活動のサポートを行っています。

水と緑のセンター機能の充実

①公園ボランティアの育成支援

登録者数3,208人(144団体82個人)

平成23年4月1日現在

活動内容 人数等	清 掃	花や樹木の手入れ	そ の 他 ※	計
団 体 数	44	85	15	144
個 人 数	26	56	0	82
合 計 人 数	1,322	1,615	271	3,208

※その他の活動内容:カブトムシ、冒険遊び場、公園パトロールなど

②えどがわ桜守の育成支援

登録者数896人(8団体143個人)

活動内容:開花状況の発信、肥料を与える、植樹など桜の見守り全般

水と緑のリーダー会議の開催

アダプト活動交流会への参加



公園ボランティアの育成事業



バラの手入れボランティア養成講座

KOIWA花路倶楽部

花の手入れボランティア養成講座

ウェルカム・ガーデナーの育成事業



ハンギングバスケット講習会

花のまちづくり講習会

キッズ公園ボランティア(区球場前)

ネイチャーリーダーの育成事業



ネイチャーリーダー養成講座



自然観察会

えどがわ桜守の育成事業



桜守エリアマスター養成講座



皆で学ぼうサクラ講習会

水と緑の区民カレッジ講座の開催



さくらものしり博士になろう



ラベンダー収穫体験



日曜庭師入門講座



ミニ門松づくり講座



花鉢アレンジ講習会



一之江抹香亭香教室

施設の魅力アップ事業

樹名板の充実



緑のフェスティバルにて



夏休み親子講座にて

グリーンアドベンチャーコースの設置



利用案内板



ヒント板



イベントの開催等(実施日は、平成22年) ※23年度は、東北地方太平洋沖地震の被災状況を考慮し、イベントは自粛しました。
イベントや行事開催等を通じて公園のPR・利用拡大を図るとともに、公園愛護心の啓発に努めています。



江戸川さくらまつり(3月20日～4月11日)



緑のフェスティバル(4月29日)



花壇コンクール(5月27日～6月13日)



小岩菖蒲園まつり(6月6日～27日)



新中川フェスタ2010(6月13日)



フラワーガーデン オータムフェア(10月)

緑化推進事業(江戸川区緑化推進要綱(昭和48年10月制定)等に基づく事業)

寄贈樹木の受け入れ

引越しや改築のため、家庭で育てられなくなった樹木を相談のうえ、区で引き取り、公園や区の施設などで活用しています。(掘り取り料は寄贈者負担)



名木・古木の保護

区内の緑化のシンボル、また区民共有の財産として、樹勢回復に必要な措置「樹木診断、病枝・枯枝処理」など、専門的な助言や助成を行っています。



病虫害防除

区民及び町会・自治会などへの動力噴霧器・高枝切りバサミの貸し出しや、殺虫剤を使わない害虫防除方法及び正しい殺虫剤の使用方法などのPRを行っています。

緑化協定施設への植栽

集合住宅・病院・幼稚園など、街の核となる民間施設を対象に緑化協定を結び、植栽や緑化相談を行っています。

グリーンバンク

植木の掘り取りや運搬など、移植に関わる費用は引き取る方の負担で、住民同士の緑の譲り合いの仲介を行っています。

緑のもったいない運動(緑のリサイクル)



落ち葉の腐葉土化

公園の落ち葉をゴミとして処理するのではなく、腐葉土化して再利用し、区内の学校農園や公園の植え込み地や新設公園の土壌改良などに利用しています。

さらに、ポニーランドの馬糞を混合し、ワンコイン腐葉土として、イベントなどで販売しています。

また、各家庭で不用になった園芸残土や植木鉢の再利用も始め、これも区民の方々に好評を得ています。



ワンコイン腐葉土



園芸残土・植木鉢の再利用

動物と親しむ事業

自然動物園

昭和58年5月5日「こどもの日」に自然動物園は、オープンしました。前身の自然動物研究室では、ホタルやカブトムシ・スズムシなどを飼育し、こどもたちに夢を与えていましたが、これを発展させ動物園として開設しました。

都会では動物を飼う事が困難な家庭が多いことから、「ふれあいコーナー」では、ウサギ、モルモットなど小動物とじかに接することができます。



【主な動物種・保有点数】 平成23年4月1日現在

分類	動物種	希少種	点数
哺乳類	1 ベネットアカビワラビー		10
	2 ワタボウシパンシェ	※	4
	3 クモザル		25
	4 オグロプレーリードッグ		30
	5 レッサーパンダ	※	2
	6 オタリア		1
	7 モルモット		133
	その他 9種		94
鳥類	1 フンボルトペンギン	※	13
	2 コウノトリ	※	1
	3 ショウジョウトキ		3
	4 チリーフラミンゴ		4
	5 シロビタイムジオウム	※	1
	その他 13種		69
爬虫類	1 クサガメ		20
	2 ホウシャガメ		6
	3 ボアコンストリクター		1
	4 ボールニシキヘビ		1
	その他 8種		32
その他	18種		139
総計	64種		589



レッサーパンダ



ワラビー



フンボルトペンギン



プレーリードッグ



オタリア



コウノトリ



ふれあい動物



羊の毛刈りショー



飼育係のおはなし

【施設整備】

当初整備

施設:動物育舎・鳥獣観察舎・昆虫観察舎
2,500㎡

工事費 1億2500万円

【主な行事】平成23年度

事業名	時期
糞で花を咲かそう	4月
羊の毛刈りショー	5月
サマースクール	7月
親子飼育体験教室	9・10月
動物写真講習会	9月
フォトコンテスト	8～10月
飼育係のおはなし	毎週土日、祝日
ふれあい動物の出張	年5回
猛禽類と自然のしくみを学ぼう	12月



親子飼育体験教室

【経緯】

- 昭54.5 緑化公園課に自然動物研究室設置
- 昭55.4 事業団設立、自然動物研究室の管理を委託
- 昭58.5 子供の日に自然動物園開園(2,500㎡)
動物数:18種、143点
施設:ホテル鑑賞ドーム・幼虫飼育舎、
動物育舎・鳥類観察舎・昆虫観察舎
入園料:無料
- 昭60.4 育舎拡充オープン(動物数:30種340点)
- 昭62.3 冷却装置設置(オタリア・ペンギン)
- 平元.5 ゴスフォード市寄贈のワラビー6頭公開
(面積4,700㎡)
- 平5.4 全面改修オープン(面積4,900㎡)
- 平6.4 (社)日本動物園水族館協会へ加入
(ポニーランド含む)
- 平8.7 鶴岡市の庄内浜加茂水族館と動物交換
(イモリ・メダカと金魚)

ポニーランド

昭和50年5月5日「こどもの日」に、かわいい小さな馬と遊べる篠崎ポニーランドが江戸川河川敷の中に開園しました。

前年、区長への手紙に「今の子どもたちの生活には潤いがありません。せめて公園の中に、馬と子どもと一緒に遊べる広場をつくって」とあり、区が設置したものです。

そして昭和57年ポニー（道産子）で曳く木造馬車が始まり親子で楽しめる広場になりました。

また平成5年5月からは、なぎさポニーランドも開園し、南北の2ヶ所で楽しいひとときが過ごせるようになりました。



篠崎ポニーランド



クラフト教室



【施設概要】

施設規模

(篠崎)面積 17,756㎡

(なぎさ)面積 5,000㎡

【経緯】

- 昭50. 5 馬と楽しむ広場(ポニーランド)開園(ポニー3頭)
入園料:無料
- 昭55. 4 環境促進事業団が施設管理受託(曳馬6頭)
- 昭59. 12 女性乗馬教室開校
- 昭63. 7 ナイター乗馬開始、診療棟新設
- 平 2. 7 サマースクール開設
- 平 5. 5 なぎさポニーランド開園(曳馬営業開始)
- 平 6. 7 なぎさポニーでナイター乗馬・サマースクール開設
- 平 9. 3 篠崎ポニー厩舎・事務所改築・広場拡張整備
なぎさポニー放牧場完成
- 平13. 9 女性乗馬教室終了
- 平20. 3 なぎさポニーランド馬場拡張・厩舎改修工事
- 平21. 3 篠崎ポニーランド第二厩舎建設工事
- 平22. 4 子ども未来館 開設(元・篠崎図書館)

【主な事業】 平成23年度

事業名	時期
サマースクール	7・8月
親子体験教室	7・8月
クラフト教室	篠崎 :7・8・ ※7・8月は 子ども未来館で実施
ポニー出張	12月 なぎさ: 9月 年4回

【保有馬】 平成23年度

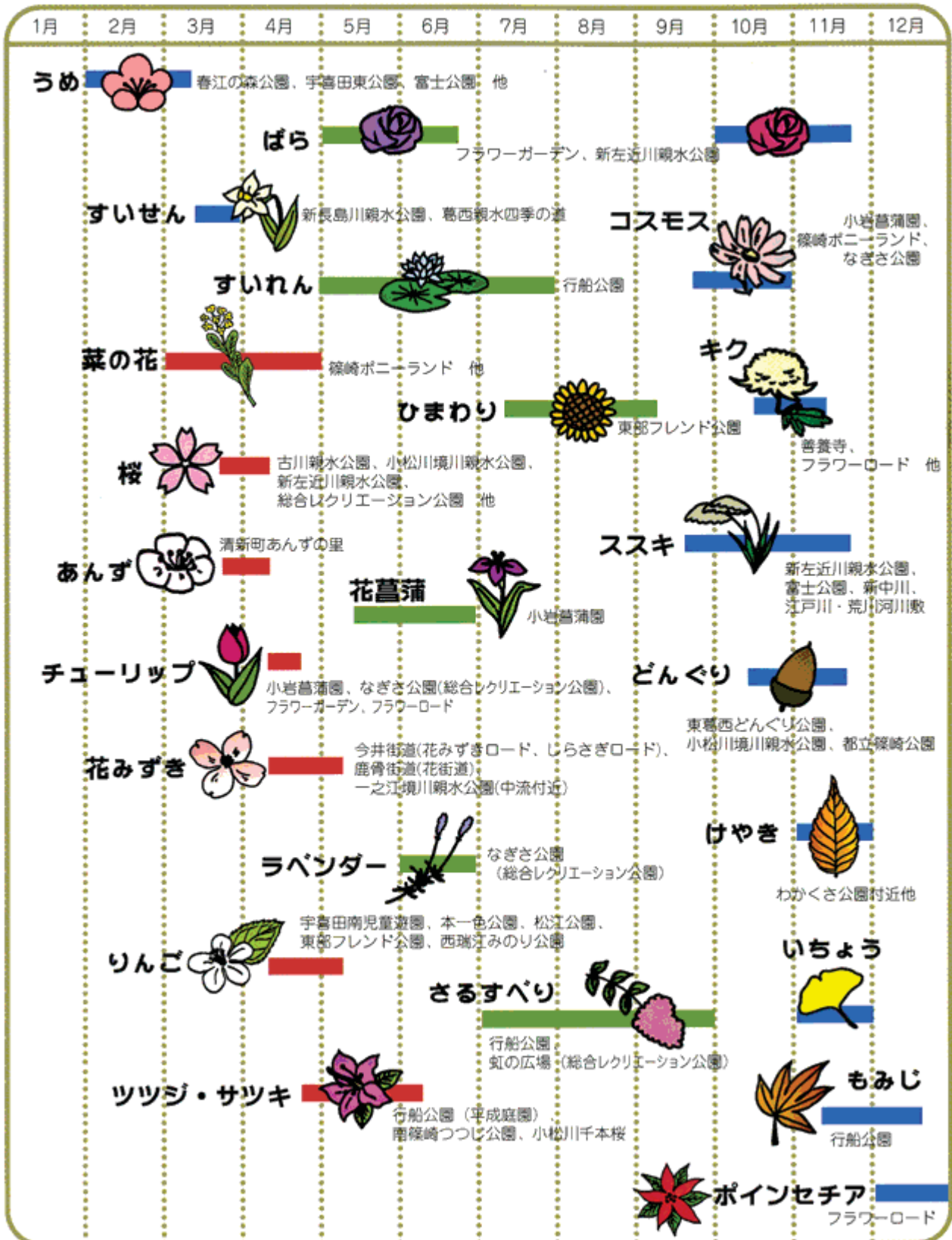
種別	篠崎	なぎさ
ポニー	7頭	7頭
馬車馬	1頭	—
計	8頭	7頭



なぎさポニーランド

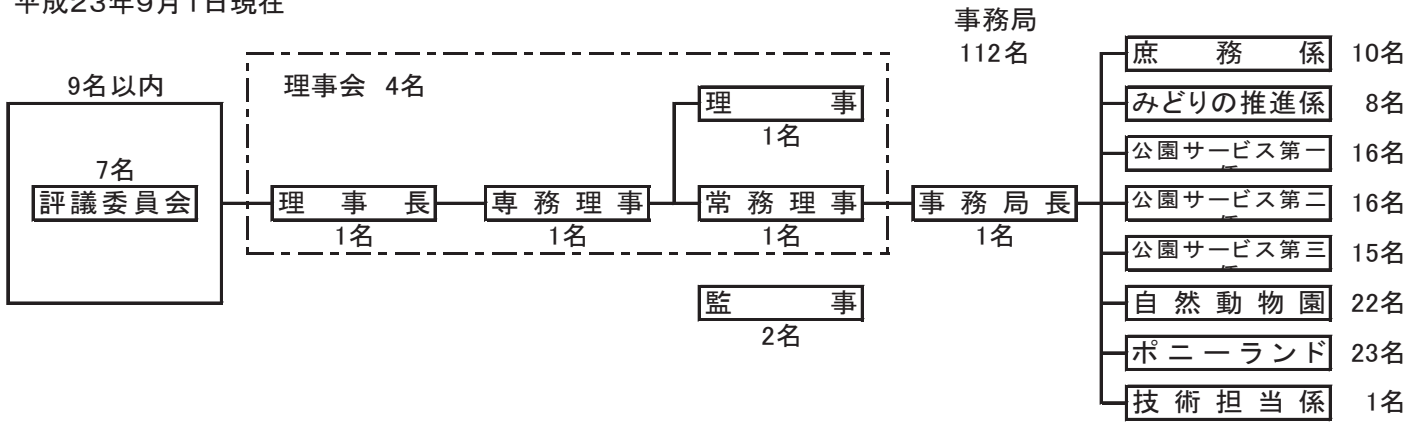
花カレンダー

天候により開花時期等は、ずれることがあります。



えどがわ環境財団(旧環境促進事業団)組織

平成23年9月1日現在



えどがわ環境財団(旧環境促進事業団)のあゆみ

昭 55. 4	財団法人 江戸川区環境促進事業団発足 * 管理施設 古川親水公園・ポニーランド 自然動物研究室の運営	平 11. 3	なぎさ公園・富士公園つり橋改修 (総合レクリエーション公園)
昭 56. 3	総合レクリエーション公園計画策定	平 12. 3	なぎさ公園花の丘整備 (総合レクリエーション公園)
昭 57. 4	小松川境川親水公園(せせらぎのゾーン)完成	平 13. 4	区緑化公園課を廃止 公園126 児童遊園・広場270 } を管理開始 親水緑道18
昭 58. 1	小松川境川親水公園を愛する会発足	平 14. 4	公園等一括管理委託開始 「えどがわ生き物ガイド」発行
昭 58. 4	ファミリースポーツ広場開園 (総合レクリエーション公園)	平 15. 3	小松川千本桜完成
昭 58. 5	自然動物園開園	平 16. 4	組織改正 [計画課⇒みどりの推進課] [設備管理課⇒整備課]
昭 59. 5	フラワーガーデン開園 (総合レクリエーション公園)	平 18. 3	小松川境川親水公園 「手づくり郷土大賞」受賞記念碑設置
昭 59. 7	プールガーデン落成(総合レクリエーション公園)	平 18. 4	組織改正 [整備課⇒整備課・技術担当課] [動物課⇒自然動物園・ポニーランド]
昭 59. 9	江戸川区球場落成(総合レクリエーション公園)	平 18. 4	河川敷グラウンドの管理開始 一之江境川親水公園 「生き物たんけんハンドブック」発行
昭 59. 11	虹の広場開園(総合レクリエーション公園)	平 19. 4	組織改正 [自然動物園⇒自然動物園・動物衛生課] [施設第三課⇒施設第三課・技術担当課]
昭 60. 5	小松川境川親水公園全線開園 小松川境川親水公園「国際交通安全学会賞」受賞	平 20. 6	第17回全国花のまちづくりコンクール 「花のまちづくり大賞」受賞
昭 61. 7	小松川境川親水公園「手づくり郷土賞」受賞 キャンプ場開園(総合レクリエーション公園)	平 20. 6	「全国花のまちづくり江戸川大会」開催 「親と子の水と緑の江戸川ガイドマップ」発行
昭 62. 5	南葛西少年野球場開園 (総合レクリエーション公園)	平 21. 9	「江戸川区の樹木と野草ハンドブック」発行
昭 63. 5	富士公園開園(総合レクリエーション公園)	平 23. 4	組織改正 新規⇒参与 廃止⇒整備課・動物衛生課 庶務課⇒庶務係 みどりの推進課⇒みどりの推進係 施設第一～三課⇒公園サービス第一係～第三係 技術担当課⇒技術担当係
平 元. 3	自然動物園にベネットワラビー到着	平 23. 9	名称変更 公益財団法人えどがわ環境財団
平 3. 4	臨海球技場落成		
平 3. 3	新長島川親水公園完成		
平 3. 5	パノラマシャトル運行開始 (総合レクリエーション公園)		
平 5. 7	第1回小岩菖蒲園「写真・短歌・俳句コンクール」開催		
平 5. 7	新左近川親水公園駐車場・ボート場(西側)オープン		
平 6. 3	新左近川親水公園完成		
平 7. 3	一之江境川親水公園(上流部)完成		
平 8. 3	一之江境川親水公園(中・下流部)完成		
平 8. 4	行船公園管理		
平 9. 4	新左近川マリーナの管理開始		
平 10. 3	フラワーガーデンバラ園改修 (総合レクリエーション公園)		



平成23年9月作成

公益財団法人えどがわ環境財団
〒132-0021
東京都江戸川区中央一丁目3番13号中里ビル内
TEL 03-5662-5541
FAX 03-3652-1550